



国立大学法人
豊橋技術科学大学

IT食農だより

発行元：豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

住所：〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL：0532-44-6655 FAX：0532-81-5108 E-mail：manager@recab.tut.ac.jp

2022年6月15日

No. 86

先進事例の視察研修をスマート
フォンによる中継で行いました！

当センターでは、植物工場マネージャー10期生8名及びIT食農先導士（土地利用型）6期生2名の先端施設研修・先端IT農業研修を計画していました。しかし、新型コロナウイルスの感染リスクが高止まりする中で断念し、代わりに、スマートフォンによるリモート中継視察を実施しました。視察は、4月16日（土）に実施し、午前は田原市にある（株）安田商店・安田幸雄氏（6次産業化1期生、植マネ5期生）のベビーリーフ栽培、（株）G・ファーム 養豚排泄物によるメタン発電とその冷却温水（70℃の温湯）を利用した熱帯果樹栽培ほ場を視察しました。また、午後は、豊橋市賀茂町の水谷農園・水谷一江氏（植マネ4期生）のイチゴ栽培ほ場で、移動ベンチ、



安田商店 ベビーリーフ栽培状況



Gファーム メタン発電施設

UV-Bによるダニ、うどんこ病の防除等を視察しました。

経営主の方に、①経営体の概要（歴史、従業員数、工場（栽培）面積など）、②経営理念、③経営状況、④将来への展望等を話していただき、その後、栽培、出荷現場を案内していただきました。いずれも、リモートではありませんでしたが、受講生の方達からは、熱のこもった質問が積極的になされ、それに対して、経営主の方達からは、丁寧にお答えいただきました。いずれも大変有意義な研修となりました。（文責：山内高弘）

社会人向け実践教育プログラム (3講座)受講生募集

秋以降開講予定の社会人向け実践教育プログラム「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」第11期生、「IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型IT農業コース）」第7期

生、「実践的キク栽培論、実践的トマト栽培論」第2期生を募集します。

植物工場マネージャー、IT食農先導士では、教室・オンライン講義やeラーニングにより工学的知識や基礎農学等を習得しながら、現地視察研修、課題解決技術科学研究に取り組み、食農産業を活性化、地域再生を担う人材を育成します。

また、実践的キク、トマト栽培論では、篤農家の栽培技術を分析、評価、体系化した実践的プログラムをeラーニング中心に履修、キクまたはトマトの栽培、経営において意思決定のできる人材を育成します。

募集概要は以下の通り。「植物工場マネージャー、IT食農先導士」①募集人数：植物工場マネ10名、IT食農5名、②募集期間：7月4日（月）～8月19日（金）必着、③受講期間：2022年12月3日～2024年3月（約1年4ヶ月）、④受講料：15万円（割引制度あり）。

「実践的キク、トマト栽培論」①募集人数：計5名（コース選択制）、②募集期間：7月4日（月）～8月19日（金）必着、③受講期間：2022年10月3日～2023年3月（約5ヶ月）、④受講料：4万円（割引制度あり）。

意欲のある方、ぜひ大学で学んでみませんか。

詳しくは、先端農業・バイオリサーチセンターのWebサイトをご覧ください。

<http://www.recab.tut.ac.jp>

（文責：前田紀子）

◆植物工場マネージャー第11期生募集



最先端植物工場 マネージャー育成プログラム
第11期生募集 募集期間 2022.7.4 ▶ 2022.8.19日

2022年12月~2024年3月
農機技術科学大学・各機関先 他
専攻人数 10名
受講料 150,000円

【募集要項】
①受講料：受講料150,000円
②施設利用料・企業実習費 50,000円
③農機水産実習費等 80,000円

【問い合わせ先】
〒441-8580 愛知県豊田市中津川町1-1-1 農機技術科学大学 607
本学農機・バイオテクノロジーセンター 農機技術実習センター
TEL: 0531-44-5651 E-mail: manager@ccab.ac.jp

◆IT食農先導士第7期生募集



IT食農先導士養成プログラム
(最先端土地利用型IT農業コース)
第7期生募集 募集期間 2022.7.4 ▶ 2022.8.19日

2022年12月~2024年3月
農機技術科学大学・各機関先 他
専攻人数 5名
受講料 150,000円

【募集要項】
①受講料：受講料150,000円
②施設利用料・企業実習費 50,000円
③農機水産実習費等 80,000円

【問い合わせ先】
〒441-8580 愛知県豊田市中津川町1-1-1 農機技術科学大学 607
本学農機・バイオテクノロジーセンター 農機技術実習センター
TEL: 0531-44-5651 E-mail: manager@ccab.ac.jp

季節の花 ランタナ

ランタナ(学名: *Lantana camara*)は、クマツヅラ科の常緑低木。ランタナとは、熱帯アメリカが原産の植物です。約150種が熱帯地域に広く分布しています。原種のひとつであるランタナ・カマラは1mほどの低木で、もうひとつのコパノランタナは地面を這うように枝を広げるほふく性の植物です。この花は、別名「七変化(シチヘンゲ)」とも呼ばれ、徐々に花色が変わることに由来しています。真夏の暑さにも負

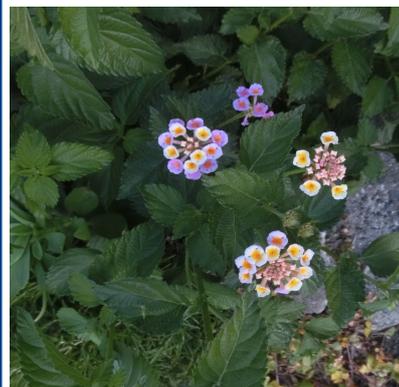


写真 ランタナの花

けず、鮮やかな色の花を春から晩秋まで長く咲かせ、病害虫にも強く育てやすいことからガーデニング初心者の方におすすめの手間いらずなお花です。

ランタナは種や苗から育てられるので、鉢植えや庭植えなどさまざまな楽しみがあります。もともと丈夫な植物なので、よく日光を当てていけば環境を選ばず元気に育ちます。最初は日陰に置いて水切れしないように管理しておけば、2週間ほどすれば発芽します。ある程度苗が育ったら鉢で管理して冬越しさせ、翌年の4月以降に鉢か庭に定植します。また、挿し木でも簡単に増やせます。5〜9月頃に行うのが良いでしょう。

土の表面が乾いたらたっぷりと水を与えます。水切れになると葉がすぐにしおれたようになります。冬は寒さで成長しないので乾かし気味でかまいません。水を吸わないのに水をやり過ぎると過湿になつて根が傷みます。地植えは一

端根付いてしまうと、取り立てて水をやらなくても育ちます。

長期間花が咲き続けるので春と秋にゆつくり効く緩効性の化成肥料を少量株元に施します。肥料はその程度で十分です。植え付けたあととはたっぷり灌水します。その後も、土の表面が乾いたら水を与えます。春と秋は、水の量を少し控えるくらいがポイントです。枝が茂りすぎた場合、生育期間中ならいつでも剪定することが出来ます。庭植えにしたものは、冬に落葉するので、茂った枝が見苦しい場合は株元から短く切り戻すと良いでしょう。

(文責: 山内高弘)

旬の食べ物 スイカ

学名: *Citrullus lanatus* (Thunb.)
Matsum. & Nakai
英名: Watermelon

スイカは、アフリカのサバンナ地帯や砂漠地帯を原産とするウリ科のつる性一年草です。スイカにはいろいろなタイプがあり、多くの種苗会社から様々な品種が開発され販売されています。球の大きさ(大玉、小玉)、形(球形、楕円形)や果肉の色(赤肉種、黄肉種)によってタイプ別にわけられ、それぞれの品種を組み合わせて栽培しています。大学がある天伯には「天伯すいか」というブランドスイカがあり、味には定評があります。

栄養的には、果肉の約95%が水分であり、このうち6〜8%が糖分



で、その内訳はブドウ糖、果糖、ショ糖です。ビタミンA(カロテン)やB1、B2、Cの他、カルシウム、リン、鉄、カリウムなどのミネラル類、グルタミン酸やアルギニンなど、多くの成分をバランスよく含んでいます。果糖やブドウ糖はエネルギー転換が速やかに行われるので、夏の暑さで疲れた体を癒すには冷たいスイカを食べると即効性があります。水分も多く、水分補給にも適しています。また、スイカに多く含まれるシトルリンには、血流を改善する効果があるので、スイカを食べると手足のむくみや冷え性の改善が期待できます。シトルリンは、ほかの果実にはほとんど含まれない成分です。

スイカは毎年5月中旬頃から小玉スイカの収穫が各地で始まり、続いてハウス栽培の大玉スイカが収穫され出荷され始めます。露地栽培のスイカも出始め、出荷のピークは6月中旬から8月のお盆前にかけてとなります。(文責: 熊崎忠)